

新型コロナウイルス ドクターに聞くワクチン接種Q & A

SNS や人から聞いた情報など、ワクチン接種について不安になる情報を見聞きすることがあるかもしれません。今回、実際に個別接種会場でワクチン接種を実施している岡原クリニック(堺市西区)の岡原院長にワクチン接種の不安や疑問について解説していただきました。



岡原クリニック院長
岡原和弘さん

Q 若い人は重症化リスクが低いと聞きますが、ワクチンを受けた方がいいですか？

A 若い患者さんから「コロナに感染し非常に大変な思いをした、もう二度と同じ思いをしたくない」という声を直接聞きました。若い方で副反応を敬遠し、接種を希望されない方もいますが、コロナの後遺症で長期間苦しむことに比べると副反応は一時的といえます。デルタ株が拡大し、若い方の感染・重症化が増えていきますので、ワクチン接種を若い方にもおすすめします。

Q 副反応で高熱や強い痛みが出る人の話を聞くと不安です。

A どんなワクチンでも副反応が起こる可能性があります。たしかにインフルエンザのワクチンと比べると熱が出る人が多少は多いですが、アナフィラキシーなどの重篤な副反応は非常に稀です。万一の心配があるので、接種後15分程度は接種場所で待機し、体調に問題ないか確認してから帰っていただきます。なお当院では、アナフィラキシーなどの重篤な副反応が出た方はこれまでいませんでした。

Q ワクチンを受けた後に熱が出たらどうしたらいいですか？

A ワクチン接種部の痛みは約90%の方に、発熱は1回目の接種では約10%、2回目は約40%の確率で見られますが、通常は数日で軽快するため、それほど心配することはありません。発熱時は、無理をせずに市販の解熱鎮痛剤の使用も考えましょう。また、府や堺市には副反応が出たときに、相談できる電話相談窓口があるので利用してください。



Q ワクチン接種後もコロナに感染しますか？

A ワクチン接種後は発症する確率は減少し、発症したとしても重症化するリスクは軽減されます。ただし、完全に感染を予防できるわけではありませんので、マスク、手洗い、密を避けるなど基本的な感染予防を継続することが重要です。多くの方がワクチンを接種することで集団免疫ができ、接種した人だけでなく、大切な家族や周りの人たちを守り、社会全体で感染症の流行を抑えられるようになります。理由があつて接種できない方以外は、できるだけ多くの方に接種していただきたいと思えます。

副反応について

症状が続くときは
副反応相談窓口
☎228-7043
9:00~17:30
(土・日曜日、祝休日も開設)

市ホームページ
QRコード

コロナ関連支援策

その他の支援策

個人向け



事業者向け



新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

生活困窮世帯向けの給付金の申請期限を延長しています。

対象 緊急小口資金等の特例貸付における総合支援資金の再貸付を終了した世帯か不承認された世帯

給付期間・額 3カ月間
▷ 単身世帯：6万円/月
▷ 2人世帯：8万円/月
▷ 3人以上世帯：10万円/月

申請期限 11月30日
詳しくは 市ホームページへ

☎相談ダイヤル(☎0570-200-682)



必要とされる方に生理用品を無償配布

コロナの影響などで経済的・精神的に不安を抱える女性を支援するため、生理用品(相談窓口案内カード付き)を無償でお渡しします。

期間 9月8日~来年3月31日※なくなり次第終了

配布物 生理用ナプキン お一人に付き1パック
配布場所など詳しくは、市ホームページ(2次元コード)へ。
☎男女共同参画推進課(☎228-7408 FAX228-8070)



月次支援金

経済産業省では、緊急事態・まん延防止措置等の影響で売り上げが50%以上減少した事業者月に月次支援金を給付します。各対象月で申請が必要です。

給付額 ▷中小法人:上限20万円/月 ▷個人:上限10万円/月

締切 7月分:9月30日、8月分:10月31日、9月分:11月30日

■申請サポート会場 東洋ビル(堺東駅前)※要予約

☎月次支援金事務局 相談窓口(☎0120-211-240)

詳しくは経済産業省ホームページへ



第7期大阪府営業時間短縮協力金

府では、飲食店事業者を対象とした第7期協力金(6月21日~8月31日分)の申請を受付中です。原則電子申請ですが、市産業政策課(市役所高層館7階)で申請書類を配布しています。7月に早期給付の申請をされた方も残余分の申請が必要です。

締切 9月27日

☎府営業時間短縮協力金コールセンター(☎06-7178-1342)

詳しくは府ホームページへ



大阪府に緊急事態宣言が出ています。8月に入って全国的に感染が急激に拡大し、堺市でも日々の新規陽性者数が過去最多となりました。

堺市では、市民の皆様の命と健康を守るために、これまで増強を重ねてきた保健所等の体制を更に強化して臨んでいます。医師や看護師、民間救急事業者の皆様との連携や、市独自の様々な施策によって自宅療養される方への支援にも注力しています。

また、コロナ禍に打ち勝つ重要な鍵となる「ワクチン接種」は、既に高齢者の約9割の方が完了し、感染した際の重症化リスクが高い方から順次進めています。若い世代の皆様にはお待たせしてしまいましたが、8月30日からは全ての対象者の予約・接種を開始します。未接種の方はぜひお申し込みください。

さて、今月号の表紙は、「SENBOKU New Design」です。私自

身も過ごした泉北ニュータウンの魅力や可能性を活かして更に素晴らしい地域とするために、住民や事業者の皆様と想いを共有しながら挑戦します。

そして9月は防災月間です。局地的な大雨をはじめ、台風や地震など災害への備えが欠かせません。避難に関するお知らせや普段から想定していただきたいポイントを掲載しています。

堺市は、困難な状況を乗り越えるために全力を尽くします。感染力が非常に強い変異型ウイルス「デルタ株」に立ち向かうには、今までの意識と行動が必要です。人流を抑えるために市の施設も休止や利用制限しています。どうかご理解とご協力をお願いします。



堺市長 永藤英機

不要不急の外出は控えましょう。マスクの着用・こまめな手洗い・消毒・うがいをし、3密を避けましょう。